

特別教室空調設備整備事業

契約候補者選定基準

令和8年1月

今治市 教育委員会事務局 教育大綱推進課

目次

1 契約候補者選定基準の位置づけ	1
(1) 本事業の業務名及び提案上限額	1
(2) 契約候補者の選考方法	1
2 契約候補者選定の手順	1
(1) 選定フロー	1
(2) 1次審査(参加資格審査)	3
(3) 基礎審査	3
(4) 2次審査(企画提案書のプレゼンテーション・ヒアリング審査)	3
3 評価点の算出方法	3
(1) 評価点の配点	3
(2) 企画提案書の内容に関する評価	3
(3) 経済性に関する評価	4
4 契約候補者の選定方法	4

1 契約候補者選定基準の位置づけ

特別教室空調設備整備事業契約候補者選定基準は、今治市(以下「市」という。)が実施する特別教室空調設備整備事業(以下「本事業」という。)について、公募型プロポーザル方式により行う契約候補者の選定にあたって、実施する評価の方法、手順及び基準等を定めたものであり、本事業に係る参加を希望する事業者公表する特別教室空調設備整備事業募集要項(以下「募集要項」という。)及び特別教室空調設備整備事業要求水準書(以下「要求水準書」という。)と一体となるものである。

(1) 本事業の業務名及び提案上限額

募集要項による

(2) 契約候補者の選考方法

募集要項による

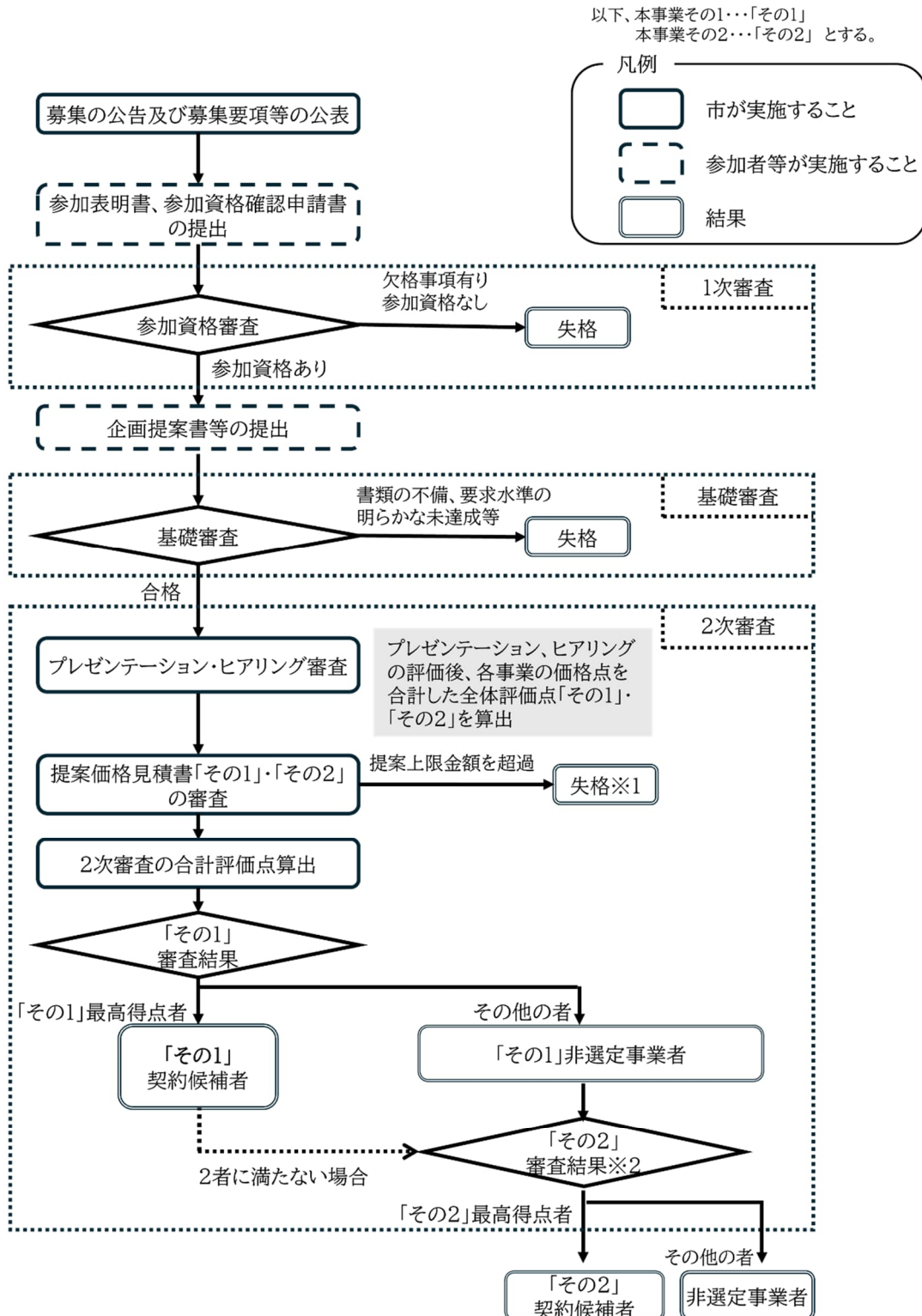
2 契約候補者選定の手順

(1) 選定フロー

以下の図 1 に、契約候補者選定フローを示す。

図 1 契約候補者選定フロー

契約候補者の選定手順



※1:提案上限金額を超過していた対象事業のみが失格対象となる。

※2:「その1」で契約候補者となった事業者は取りのき対象となり、「その2」の合計評価点は無効扱いとなる。

ただし参加表明時または2次審査での提案価格審査により事業者が2者に満たない場合はその限りではない。

(2)1 次審査(参加資格審査)

公告日を参加資格の資格確認基準日とし、参加希望者から提出された参加資格確認申請書を基に、参加資格要件等の具備を事務局において確認する。参加資格審査の結果は、市より電子メールにて応募者に通知する。

(3) 基礎審査

市は、企画提案書に記載された内容が、表1に示す「基礎的事項」の内容を満たしていることを確認する。基礎的事項について、全てが適格と確認された参加事業者は、2次審査(プレゼンテーション・ヒアリング審査)の対象とし、1項目でも満たさないことが確認された参加事業者は失格とする。

また、参加資格を満たす参加事業者が6者以上の場合は、「3(2)企画提案書の内容に関する評価」のうち「イ定量評価」を採点し、上位5者程度に2次審査の参加資格を与え、それ以外の者は2次審査への参加を認めない。

表 1 基礎的事項

①	企画提案書全体について、同一事項に対して2通り以上の提案が無いこと及び提案事項間において齟齬や矛盾等が無いこと
②	提案書全体について、様式に従った内容となっていること
③	提案書が要求水準書を満たしていること

(4) 2 次審査(企画提案書のプレゼンテーション・ヒアリング審査)

2次審査は、企画提案書の内容に関する評価(プレゼンテーション・ヒアリング)と経済性に関する評価(提案価格見積書)に分けて評価を行う。

2次審査は選定委員会が行い、評価点の算出方法については「3 評価点の算出方法」による。

3 評価点の算出方法

(1) 評価点の配点

合計評価点(100点)＝企画提案書の内容に関する評価(60点)＋経済性に関する評価(40点)

※評価点算出の際は、各委員で評価項目別に小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求める。

(2) 企画提案書の内容に関する評価

企画提案書の内容に関する事項を60点満点とし、別紙1「企画提案書の内容に関する評価項目」の内容に応じ、以下に示す評価方法によって、内容評価点を付与する。

なお、企画提案書の内容に関する評価が6割(36点)に満たない場合は、契約候補者とししない。

ア 定性評価

表2に示す評価方法で選定委員会の各委員が各項目について採点し、各委員の評価点の平均により企画提案書の内容に関する評価点を付与する。

表 2 定性評価の評価方法

評 価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.80
C	普通	配点×0.60
D	劣っている	配点×0.40

イ 定量評価

別紙 1「企画提案書の内容に関する評価項目」に示す計算方法により、企画提案書の内容に関する評価点を付与する。

(3) 経済性に関する評価

経済性に関する評価を40点満点とし、提出された提案価格から事業ごとに、以下の式により経済性に関する評価点を付与する。

満点(40点)×(最低提案価格 ※1)／(提案価格 ※2)

※1 最低提案価格とは、各事業の審査対象事業者の提案価格の内、最も低い提案価格をいう。

※2 提案価格とは、提案価格見積書(本事業その1は様式7-2、本事業その2は7-4)における提案価格をいう。

4 契約候補者の選定方法

選定委員会は、「本事業その1」「本事業その2」それぞれで2次審査の合計評価点で最高得点を得た者(最優秀提案者)を契約候補者に選定し、以下、合計評価点の高い順に順位を決定する。ただし、合計評価点が高点の参加者が2人以上あるときは、経済性に関する評価点が高い者を契約候補者とするが、さらにこれも同点の場合は、くじ引きにより選定する。その方法は対象者に別途通知する。

別紙1 企画提案書の内容に関する評価項目

項目名	評価項目	評価内容	評価方法	計算方法	配点
業務遂行力 に関する 評価	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を円滑に推進するための業務実施体制 ・担当技術者の体制及び役割分担 ・会社・組織のバックアップ体制 ・市及び学校との連絡・調整方法 等 	定性評価	表 2 定性評価の評価方法 による	5点
	同種・類似業務の 実績	参加事業者と監理技術者の受注・施工実績(過去 10 年)	定量評価	<p>【参加事業者(単独企業の実績を計上。コンソーシアムの場合は代表構成員及び構成員の実績を計上可)】</p> <p>学校空調の施工実績について以下の内容に基づき最大3点加点する。ただし、加対象業務は最大3件とする。</p> <p>(1)同種業務:多拠点(3校以上)実績につき1点</p> <p>(2)類似業務:単体(1校程度)実績につき0.5点</p>	3点
				<p>【監理技術者】</p> <p>学校空調の施工実績について以下の内容に基づき最大2点加点する。ただし、加対象実績は最大2件とする。</p> <p>(1) 同種:学校空調の施工実績:1点</p> <p>(2) 類似:国、又は地方公共団体等の所管施設における空調設備工事实績:0.5 点</p>	2点
企画提案力 に関する 評価	品質確保	<ul style="list-style-type: none"> ・多拠点における設計・施工において、一定以上の品質を確保するための統一的な品質管理手法 ・想定外の事態を防ぐための事前調査の体制・方法 ・設計・施工段階での自主検査体制の構築 等 	定性評価	表 2 定性評価の評価方法 による	10点

別紙1 企画提案書の内容に関する評価項目

項目名	評価項目	評価内容	評価方法	計算方法	配点
	工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務・施工業務の具体的な工程管理手法 ・早期供用を実現するための、具体的な施工計画（実施班の配置計画） ・工程遅延の想定要因に対する具体的なリスクマネジメント計画 ・設計着手から工事完了までの工程表 等 	定性評価	表 2 定性評価の評価方法 による	10点
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への安全性及び利便性の確保のための方策 ・学校教育活動へ与える影響（騒音・振動）の抑制策 ・停電日数の短縮や工事の事前周知方法 等 	定性評価	表 2 定性評価の評価方法 による	10点
取組み姿勢に関する評価	本事業への参加意欲・信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの分かりやすさ ・質疑応答の的確さ、分かりやすさ、説得力 ・事業受託に対する熱意、信頼性 等 	定性評価	表 2 定性評価の評価方法 による	10点
地域経済に関する評価	地域経済の活性化	市内企業の役割分担	定量評価	以下のどちらかを満たした場合、加点する。 (1)市内企業が単独企業として参加：2点 (2)市内企業がコンソーシアムの代表企業である：2点	2点
		コンソーシアムの構成企業及び下請け企業における市内企業の参画状況		以下の内容に基づき、最大8点加点する。 (1) コンソーシアムの構成企業とする市内企業1者につき1点 (2)下請け企業に活用する市内管工事企業1者につき1点	8点

※ 市内企業とは、建設業許可における主たる営業所が今治市内であり、市内における営業年数が3年以上あり、かつ、市税を完納している企業を指す。